朝日新聞
DIGITAL

全国学力調査がコンピューター化へ　全員が同じ問題を解かない!?

有料記事

山本知佳　2024年11月9日 8時00分

小学6年と中学3年が受ける全国学力調査が、来年度から変わる。コンピューターで答える方式が始まるからだ。また、1人ずつ違う問題を出し、「より詳細な学力を把握できるようになる」とも文部科学省は説明する。

学力調査はどう変わるのか。

2022年の全国学力調査では、質問紙調査に端末を使って生徒たちが回答した=同年4月、東京都内の中学校、代表撮影

先月29日、新しい方式のサンプル問題を文科省が公表した。ルーペの正しい使い方を四つの動画から選ぶ▽記号を画面上で動かして電気回路図を完成させる――などだ。

形式に慣れておくため、来年の調査前にコンピューターで解くよう各校に求めている。

コンピューターを用いるテストをCBT（Computer Based Testing）という。来年度に中学理科で始

めて、2026年度は中学英語も、27年度以降は小学校に広げる方針だ。

CBT化で何が変わる？

なぜCBT化するのか。

まず、端末が増えたことがある。学校をICT化する「GIGAスクール構想」を国が19年から進め、コンピューターの1人1台配備が実現した。その結果、約200万人が受ける全国学力調査もCBT化できる条件が整った。

CBTの利点の一つがコスト削減。紙の印刷や配送費（24年度で約13億6千万円）などを抑えられる。

また、動画・音声を用いて出題の幅を広げられるほか、「様々な配慮が必要な児童生徒も参加しやすくなる」（文科省担当者）。例えば、文字の拡大やルビ振りを希望する場合、従来は、事前申請を受けて別の問題用紙を用意していた。

文部科学省が公表した中学理科のサンプル問題

「CBT慣れ」という狙いも見える。

経済協力開発機構による3年に1回の国際学力調査「学習到達度調査」（PISA）で、日本は、CBT化された15年以降、「読解力」の順位が2回続けて下がった。コンピューターでの回答に子どもが不慣れだったとも指摘された。

ただ、期待する最大のメリットは「詳細な学力の把握」だという。紙のテストと何が違うのか。

1人ずつ違う問題だからできること

文科省は、CBT化した全国学力調査では、子どもごとに問題を変えると説明している。

例えば、ある教科の大問四つの内訳が、Aさんは問題①②④⑤、Bさんは問題①④⑤⑥、Cさんは問題②③⑥⑦――となるようなイメージ。多くの種類の問題を出すことで、子どもたちの課題のありかをより細かくつかめるが、従来の紙のテストでは、約200万人が受ける大規模な調査で大量の問題を用意・出題するのが困難だった。

子どもによって解く問題の観点や難易度が変わることになるが、「評価に問題はない」とする。正答数ではなく、どの難易度の問題に安定的に正答したか、という点でみるからだという。

新しい方式で変わる「学力のはかり方」

そもそも、「全国学力調査は順位付けではなく、児童生徒の学習状況を把握し、授業改善などに役立てることが目的」と担当者は話す。

大量の問題を用意する一方、多くを非公表とする。そうすれば同じ問題を別の年の調査でも使えるため、子どもたちの学力をより客観的に評価できる。また、問題を公表しなければ調査日をずらせるので「不登校や長期入院の子も受けやすくなる」と説明する。

結果は、従来の正答率ではなく、5段階のスコアで示して各教育委員会や子どもに共有する。都道府県別の結果公表方法は検討中という。

課題は？

課題は、端末の一斉使用に耐えられる通信容量の確保。文科省は、学校で推奨通信速度を保てるようネットワーク環境の改善を求めている。すでに授業で用いており、端末操作に問題はないと同省はみている。

広がるCBT試験

CBTは、すでに多くの試験で使われている。

大学の医学部や歯学部の学生が臨床実習前に受ける共用試験は2005年から。就職活動でよく用いられるウェブテストもCBTだ。

実用英語技能検定（英検）やTOEFLなどの語学試験、日商簿記やITパスポートなどの資格試験も、各地に設けられたテストセンターで1人が1台ずつの端末を使って解答する形が広がっている。

02年に導入した日本漢字能力検定（漢検）は、受検機会の増加が目的だった。日本漢字能力検定協会によると、紙だと多くて年13回程度だったが、CBTだとほぼ毎日可能。結果の受け取りまでの期間も、紙より1カ月以上短くなったという。担当者は「1年間で20回も受検した人がいた」と効果を実感している。（山本知佳）

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。
Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.